



各位

国分、生活トレンド予測誌『TK Bridge2017』を発信

国分グループ本社株式会社〔本社：東京都中央区、会長兼社長：國分勘兵衛〕は、凸版印刷株式会社〔本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金子眞吾〕との協業で、2017年度の酒類食品流通業界を予測した『TK Bridge2017』を発刊いたしました。

1. 背景

生活者の食に対する意識やライフスタイルの変化は、私たち食品流通に大きな影響を与える要因となっています。この市場変化を読み解き、流通業界向けに翻訳する作業として、マーケティング企画部が「未来予測プロジェクト」を立上げ、様々な分析を進めています。

この度発刊した『TK Bridge2017』は、商品、売場、マーチャンダイジングにおける国分グループの知見と販促企画、情報システム、包材・パッケージに強い凸版印刷の知見を掛け合わせることで、ライフスタイル分析を行い、「生活トレンドと兆し」を分かりやすく解説した冊子です。

2. 目的

『TK Bridge2017』は、売場の活性化、商品開発、ビジネスモデルの構築等、様々なヒントが盛り込まれています。小売業、料飲店、メーカーはじめ、食に関わる全てのお取引先様にお届けするとともに、本誌に記載されたテーマを商品、売場で表現すべく、国分グループ企業が開催する各エリアでの展示会や日々の提案営業の場に活かしてまいります。

3. 『TK Bridge2017』の概要

◆潮流を読む

2017年の流通市場を読む「消費動向の3つのポイント」

～消費者への付加価値を向上させていく取り組みが生き残るための最大の武器となる～

◆2017年トレンド予測

消費のスイッチを探せ！ ホンネへのX線

【商圏】	生活者ヒートマップ
【集客モデル】	食えるスーパーVS 食わない飲食店
【商品・品揃え】	料理トレッキング ～食の「往路」と「復路」～
【チャンネル・サービス】	ネットとリアルの買いたい新書
【売場づくり・販促】	2つの“EXP” (Experience, Expansion)

◆2017年カテゴリー動向予測

4. 発行日

2016年12月

■ 凸版印刷株式会社について

会社名：凸版印刷株式会社

代表者：代表取締役社長 金子 眞吾

創業：1900 年

所在地：東京都千代田区神田和泉町1 番地

事業内容：「印刷テクノロジー」をベースに「情報コミュニケーション事業分野」、「生活・産業事業分野」および「エレクトロニクス事業分野」の3 分野にわたり幅広い事業活動を展開。

URL：http://www.toppan.co.jp/

以上

